



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東  
 コード番号 2204 URL <https://www.nakamura.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島田 裕之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 弘中 雅裕 (TEL) 03-5325-2733  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	37,351	0.3	1,324	23.7	1,599	25.2	918	3.7
2025年3月期	37,248	△1.4	1,070	28.9	1,277	28.3	885	118.4

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	159.11	—	3.3	3.4	3.5
2025年3月期	152.52	—	3.3	2.9	2.9

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 △311百万円 2025年3月期 △94百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	50,094	28,752	57.4	5,031.38
2025年3月期	43,509	27,038	62.1	4,680.85

(参考) 自己資本 2026年3月期 28,752百万円 2025年3月期 27,038百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	6,192	△6,261	308	2,854
2025年3月期	5,165	△654	△3,032	2,616

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	—	—	70.00	70.00	404	45.9	1.5
2026年3月期	—	—	—	75.00	75.00	429	47.1	1.5
2027年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00		45.5	

## 3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,550	0.4	△1,920	—	△1,790	—	△1,260	—	△218.51
通期	37,700	0.9	1,400	5.8	1,600	0.1	950	3.5	164.75

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期	5,976,205 株	2025年3月期	5,976,205 株
② 期末自己株式数	2026年3月期	261,600 株	2025年3月期	199,909 株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	5,766,443 株	2025年3月期	5,802,007 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	9
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(持分法損益等の注記) .....	16
(1株当たり情報の注記) .....	16
(重要な後発事象の注記) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当期におけるわが国経済は、インバウンド需要や所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、原材料の高騰や地政学リスクの継続、実質プラス成長となった個人消費についても、長引く物価高と実質賃金の伸び悩みにより節約志向が根強く続くなど、依然として経営環境は厳しい状況に置かれています。

このような状況の中、当社は経営理念「真の価値を追求し、その喜びを分かち合う」のもと、「中期経営計画－中村屋2027ビジョン－」に掲げた戦略に基づき、経営目標達成に向けた取組みを進めました。

具体的には、中華まんビジネスにおいて、電子レンジでそのまま温められる個包装の簡便性を訴求し、通年販売の強化及び需要の掘り起こしを行いました。菓子ビジネスでは、日常使いの‘デイリー菓子’について、どら焼類の製法見直しによる品質改良で増収を図るとともに、親しい間柄で贈り合うカジュアルギフトの需要拡大に対応しました。食品ビジネスでは、消費者のニーズに合わせた商品開発を積極的に行い、嗜好や利用シーンの変化に対応すべく、主力のレトルトカレーや中華調理用ソースの改良や品揃え強化を行うとともに、業務用販路において拡大する中食業態への提案を強化し、売上確保に努めました。また新宿中村屋本店では、季節商品の販売や賞味会の開催により、多くのお客様にご来店いただきました。

これらの取組みに加え、原材料価格の高騰をはじめとする様々な利益圧迫要因に対し、原材料の調達方法や商品の価格・規格の見直しを実施するとともに、アイテムの絞り込みによる製造コスト低減や工場稼働率の平準化を推進し、収益体質の強化を図りました。

以上のような取組みを行った結果、当事業年度における売上高は、37,351,144千円、前年同期に対し103,518千円、0.3%の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益は1,323,784千円、前年同期に対し253,367千円、23.7%の増益、経常利益は1,599,155千円、前年同期に対し322,091千円、25.2%の増益、当期純利益は917,517千円、前年同期に対し32,569千円、3.7%の増益となりました。

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 菓子事業

菓子類では、ギフト商品の品質改良を行うとともに、主力商品「月の菓」の規格変更や新商品「月の菓 栗」などの新発売により、カジュアルギフトの品揃え強化を図りました。

日常使いの‘デイリー菓子’類では、どら焼類のリニューアルを実施し、メディアでも紹介され話題となった「逸品どら焼」を中心に拡販に努めました。また、次期中核商品の育成に向けて、「小倉粒あんもなか」「焼きかりんとう饅頭」「あんこパイ」「ミルクまん」など、製餡技術を活かし素材や製法にこだわった商品のラインナップを強化し、展開しました。

中華まん類では、量販店販路中心に個包装のまま電子レンジで温められる「肉まん」「あんまん」などを積極的に訴求し、年間を通じた拡販に努めました。さらに春夏期には「辛肉まん」、秋冬期には「濃厚チーズ肉まん」「てりやきチキンまん」を発売し、既存のお客様だけではなく、普段購入されないお客様にも様々な用途で楽しんでいただけるよう取り組みました。また、店頭でのレンジ試食販売やレンジ体験イベントなど、簡便さの訴求・認知向上に向けたプロモーション施策を実施しました。

コンビニエンスストア販路では、「肉まん」「ピザまん」など基本商品類の改良による商品力向上と価格改定を実施しました。また売場の展開強化として、新商品「じゃがまるくん」「チーズ肉まん」やキャラクターコラボ商品を発売しました。その他、新たな顧客層・ニーズの可能性を探るため、スチーマーで販売する「チーズベアグル」を展開しました。

新宿中村屋本店「スイーツ&デリカBonna」では、季節商品の販売や百貨店の催事出店などを積極的に展開し、新たな中村屋ファンの獲得とブランドイメージの発信に努めました。

ブランド展開では、キャラメルスイーツ専門店「CAMEL MONDAY」において、季節限定商品の発売やターミナル駅・商業施設での催事出店を継続的に実施することで、ブランド認知度の向上ならびに土産需要への対応を図り、売上拡大に努めました。また、新たな顧客層へのアプローチを目的として、量販店販路にて、姉妹ブランド「CAMEL MONDAYの朝」の展開を開始しました。

以上のような営業活動を行った結果、菓子事業全体の売上高は26,219,920千円、前年同期に対し613,650千円、2.3%の減収となったものの、営業利益は2,673,355千円、前年同期に対し128,004千円、5.0%の増益となりました。

## ② 食品事業

市販食品では、より多様化する消費者のニーズに対応するための取組みを進めました。レトルト食品類においては、老舗レストランの調理技術でソースにこだわり抜いた「シェフが仕立てた」シリーズを投入し、新たなユーザーの獲得に努めました。また、発売以来ご好評をいただいている、味わいの濃さ・深さを追求した「THE 濃厚」シリーズでは、新商品「芳醇マイルド」を発売し、商品ラインナップの拡充を図りました。中華調理用ソースでは、辛さと香りを自在に調節できる新商品「辛香自在麻婆豆腐」を発売し、お客様に新たな価値を提供しました。

業務用食品では、レストランで培った調理技術を活かし、中食・内食販路へ向けた開発・提案を継続して推進しました。コンビニエンスストア向けのカレーでは、お取引先の施策に対応した商品を供給することでさらなる拡販を図りました。また、専門店小売業チェーン向けではPB商品のレトルトカレーを新発売し、売上の拡大に大きく貢献しました。外食販路においては、カフェチェーン向けに調理技術を活かしたコラボメニューを開発し、拡販を推進しました。

直営レストランでは、新宿中村屋本店「カジュアルダイニングGranna」「レストラン&カフェManna」において、季節商品の販売や賞味会の開催を通じて、お客様により多くご来店いただけるよう努めました。「オリーブハウス」においても、旬の食材を取り入れた季節感あふれるメニューを提供することで、お客様の満足度を高め、集客力の向上を図りました。

以上のような営業活動を行った結果、食品事業全体の売上高は10,218,687千円、前年同期に対し721,590千円、7.6%の増収、営業利益は644,389千円、前年同期に対し190,936千円、42.1%の増益となりました。

## ③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、商業ビル「新宿中村屋ビル」において快適で賑わいのある商業空間の提供に努め、満室稼働の維持につなげました。また、武蔵工場の敷地の一部の事業用定期借地権や、旧東京事業所跡地の一般定期借地権による地代収入により、安定した売上を確保しました。

以上のような営業活動を行いました。一部店舗の賃料改定の影響により、売上高は912,537千円、前年同期に対し4,422千円、0.5%の減収、営業利益は427,830千円、前年同期に対し24,751千円、5.5%の減益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

当事業年度末における総資産は、建物の減少691,465千円、原材料及び貯蔵品の減少535,987千円等があったものの、長期性預金の増加4,000,000千円、投資有価証券の増加2,019,847千円、土地の増加1,437,635千円等により、前事業年度末に比べ6,585,106千円増加し、50,094,059千円となりました。

負債は、退職給付引当金の減少168,519千円、資産除去債務の減少150,758千円等があったものの、長期前受収益の増加3,155,108千円、短期借入金の増加1,000,000千円等により、前事業年度末に比べ4,870,701千円増加し、21,341,707千円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加1,392,483千円等により、前事業年度末に比べ1,714,404千円増加し、28,752,352千円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末の現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ、238,519千円増加し、2,854,185千円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,191,551千円の収入（前事業年度は5,165,354千円の収入）となりました。これは主に、前払年金費用の増加405,342千円等があったものの、長期前受収益の増加額3,155,108千円、減価償却費1,809,822千円、税引前当期純利益1,485,581千円等があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、6,261,436千円の支出（前事業年度は653,747千円の支出）となりました。これは主に、長期性預金の預入による支出4,000,000千円、有形固定資産の取得による支出△2,273,145千円等があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、308,384千円の収入（前事業年度は3,032,451千円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額402,379千円等があったものの、短期借入金の増加額1,000,000千円等があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	61.9	60.6	61.1	62.1	57.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	44.4	43.4	41.2	41.6	37.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	11.7	9.6	0.5	—	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	14.4	18.1	142.5	239.5	640.9

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式数控除後）により算出しております。
2. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている負債を対象としております。
3. 利払いは、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
4. 2025年3月期の「キャッシュ・フロー対有利子負債比率」については、有利子負債が存在しないため、記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気は緩やかな回復傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや労働力不足の深刻化、中東情勢の悪化による原油供給の不安定化、米国の貿易政策などによる世界経済の不確実性の高まりなど、当社を取り巻く環境は、今後も先行きの不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中、当社は、2023年に策定した「中期経営計画－中村屋2027ビジョン－」で掲げた戦略を、これまでの進捗状況をふまえてブラッシュアップし、経営目標達成に向けた取組みを加速していきます。

以上のような状況の中で次期の業績につきましては、売上高37,700,000千円、営業利益1,400,000千円、経常利益1,600,000千円、当期純利益950,000千円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資本調達も行っていないため、会計基準につきましては、日本基準を適用しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,616,883	2,855,404
売掛金	4,368,594	4,110,906
商品及び製品	1,448,739	1,699,947
仕掛品	44,127	21,644
原材料及び貯蔵品	2,147,662	1,611,675
前払金	152	131
前払費用	235,292	232,920
未収収益	93,962	123,094
未収入金	238,826	335,218
その他	8,103	9,114
流動資産合計	11,202,339	11,000,054
固定資産		
有形固定資産		
建物	17,445,400	17,453,205
減価償却累計額	△10,113,126	△10,812,396
建物(純額)	7,332,274	6,640,809
構築物	1,505,913	1,505,363
減価償却累計額	△862,293	△924,669
構築物(純額)	643,621	580,694
機械及び装置	11,990,948	12,073,602
減価償却累計額	△9,924,677	△10,151,948
機械及び装置(純額)	2,066,271	1,921,653
車両運搬具	17,208	15,518
減価償却累計額	△16,230	△14,790
車両運搬具(純額)	978	728
工具、器具及び備品	1,420,164	1,339,331
減価償却累計額	△1,214,155	△1,149,725
工具、器具及び備品(純額)	206,009	189,606
土地	13,072,558	14,510,193
リース資産	2,641,471	2,677,499
減価償却累計額	△1,674,777	△1,925,961
リース資産(純額)	966,694	751,537
建設仮勘定	86,969	362,165
有形固定資産合計	24,375,373	24,957,386
無形固定資産		
ソフトウェア	74,763	346,498
公共施設利用権	110,906	100,221
ソフトウェア仮勘定	69,861	27,000
無形固定資産合計	255,530	473,719

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	6,529,882	8,549,729
関係会社株式	536,056	131,021
出資金	243	243
長期前払費用	14,199	95
前払年金費用	—	405,342
長期性預金	—	4,000,000
入居保証金	105,850	105,298
入居敷金	373,913	340,274
長期未収入金	1,631	1,631
その他	115,567	130,897
貸倒引当金	△1,631	△1,631
投資その他の資産合計	7,675,710	13,662,899
固定資産合計	32,306,614	39,094,004
資産合計	43,508,953	50,094,059
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,234,747	1,267,299
短期借入金	—	1,000,000
リース債務	91,944	90,890
未払金	1,357,747	1,471,358
未払費用	486,192	421,480
未払法人税等	43,745	413,257
未払消費税等	130,116	97,702
預り金	36,079	33,733
賞与引当金	696,810	582,305
その他	397,986	365,482
流動負債合計	4,475,367	5,743,504
固定負債		
リース債務	403,101	366,328
繰延税金負債	3,713,084	4,518,052
退職給付引当金	555,552	387,032
資産除去債務	254,002	103,244
長期前受収益	6,538,734	9,693,842
受入保証金	531,166	529,704
固定負債合計	11,995,638	15,598,203
負債合計	16,471,006	21,341,707

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金		
資本準備金	6,410,455	6,410,455
その他資本剰余金	1,688,664	1,688,664
資本剰余金合計	8,099,120	8,099,120
利益剰余金		
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	3,072,570	2,998,728
別途積立金	5,204,932	5,204,932
繰越利益剰余金	1,044,323	1,631,341
利益剰余金合計	9,321,826	9,835,001
自己株式	△645,906	△837,160
株主資本合計	24,244,442	24,566,363
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,793,506	4,185,989
評価・換算差額等合計	2,793,506	4,185,989
純資産合計	27,037,947	28,752,352
負債純資産合計	43,508,953	50,094,059

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	37,247,627	37,351,144
売上原価		
商品期首棚卸高	258,049	265,800
製品期首棚卸高	1,188,446	1,169,175
半製品期首棚卸高	17,093	13,763
当期製品製造原価	19,714,335	19,670,694
当期商品仕入高	3,180,475	3,302,618
当期貯蔵品(包装材料)仕入高	171,469	167,467
合計	24,529,866	24,589,517
商品期末棚卸高	265,800	290,833
製品期末棚卸高	1,169,175	1,396,681
半製品期末棚卸高	13,763	12,433
その他	467,631	484,216
売上原価合計	23,548,758	23,373,786
売上総利益	13,698,868	13,977,358
販売費及び一般管理費		
販売費	10,247,484	10,231,784
一般管理費	2,380,968	2,421,791
販売費及び一般管理費合計	12,628,452	12,653,575
営業利益	1,070,417	1,323,784
営業外収益		
受取利息	252	1,678
受取配当金	196,286	246,921
雑収入	51,162	40,411
営業外収益合計	247,700	289,010
営業外費用		
支払利息	21,351	9,661
支払補償費	9,000	—
為替差損	29	668
控除対象外消費税等	7,348	—
雑損失	3,324	3,309
営業外費用合計	41,052	13,638
経常利益	1,277,064	1,599,155
特別利益		
固定資産売却益	—	5
投資有価証券売却益	122,767	233,985
資産除去債務戻入益	—	93,185
特別利益合計	122,767	327,175
特別損失		
固定資産売却損	127	337
固定資産除却損	7,218	7,721
減損損失	174,748	6,456
関係会社株式評価損	—	405,035
工場再編関連費用	—	21,199
特別損失合計	182,093	440,749
税引前当期純利益	1,217,738	1,485,581
法人税、住民税及び事業税	85,130	403,834
法人税等調整額	247,661	164,230
法人税等合計	332,791	568,065
当期純利益	884,947	917,517

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	7,469,402	6,481,558	1,688,664	8,170,223
当期変動額				
税率変更に伴う影響額		△71,103		△71,103
剰余金の配当				
当期純利益				
固定資産圧縮積立金の取崩				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	△71,103	—	△71,103
当期末残高	7,469,402	6,410,455	1,688,664	8,099,120

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	3,185,823	5,204,932	394,538	8,785,294	△548,484	23,876,434
当期変動額						
税率変更に伴う影響額	△39,411		39,411	—		△71,103
剰余金の配当			△348,415	△348,415		△348,415
当期純利益			884,947	884,947		884,947
固定資産圧縮積立金の取崩	△73,842		73,842	—		—
自己株式の取得					△97,421	△97,421
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	△113,253	—	649,785	536,532	△97,421	368,008
当期末残高	3,072,570	5,204,932	1,044,323	9,321,826	△645,906	24,244,442

(単位:千円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,729,284	2,729,284	26,605,718
当期変動額			
税率変更に伴う影響額			△71,103
剰余金の配当			△348,415
当期純利益			884,947
固定資産圧縮積立金の取崩			—
自己株式の取得			△97,421
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	64,222	64,222	64,222
当期変動額合計	64,222	64,222	432,230
当期末残高	2,793,506	2,793,506	27,037,947

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	7,469,402	6,410,455	1,688,664	8,099,120
当期変動額				
剰余金の配当				
当期純利益				
固定資産圧縮積立金の取崩				
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	7,469,402	6,410,455	1,688,664	8,099,120

	株主資本					
	利益剰余金				自己株式	株主資本合計
	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	3,072,570	5,204,932	1,044,323	9,321,826	△645,906	24,244,442
当期変動額						
剰余金の配当			△404,341	△404,341		△404,341
当期純利益			917,517	917,517		917,517
固定資産圧縮積立金の取崩	△73,842		73,842	—		—
自己株式の取得					△191,255	△191,255
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	△73,842	—	587,018	513,176	△191,255	321,921
当期末残高	2,998,728	5,204,932	1,631,341	9,835,001	△837,160	24,566,363

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	2,793,506	2,793,506	27,037,947
当期変動額			
剰余金の配当			△404,341
当期純利益			917,517
固定資産圧縮積立金の取崩			—
自己株式の取得			△191,255
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,392,483	1,392,483	1,392,483
当期変動額合計	1,392,483	1,392,483	1,714,404
当期末残高	4,185,989	4,185,989	28,752,352

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,217,738	1,485,581
減価償却費	1,486,930	1,809,822
減損損失	174,748	6,456
資産除去債務戻入益	—	△93,185
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△152,724	△114,506
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△754,527	△168,519
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	△405,342
受取利息及び受取配当金	△196,538	△248,599
支払利息	21,351	9,661
為替差損益 (△は益)	29	668
有形固定資産売却損益 (△は益)	127	332
投資有価証券売却損益 (△は益)	△122,767	△233,985
有形固定資産除却損	7,218	7,721
関係会社株式評価損	—	405,035
売上債権の増減額 (△は増加)	627,200	257,687
棚卸資産の増減額 (△は増加)	259,704	307,261
仕入債務の増減額 (△は減少)	△116,699	32,551
未払金の増減額 (△は減少)	△121,254	12,842
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,384	△26,904
前受収益の増減額 (△は減少)	△32,104	△32,395
長期前受収益の増減額 (△は減少)	3,155,108	3,155,108
その他	△100,435	△172,384
小計	5,310,719	5,994,907
利息及び配当金の受取額	178,140	218,778
利息の支払額	△21,569	△9,661
法人税等の支払額	△301,936	△49,366
法人税等の還付額	—	36,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,165,354	6,191,551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	948	—
有形固定資産の取得による支出	△685,573	△2,273,145
有形固定資産の売却による収入	—	90
無形固定資産の取得による支出	△102,143	△251,204
投資有価証券の取得による支出	△13,338	△14,297
投資有価証券の売却による収入	182,344	261,612
投融資による支出	△42,309	△35,932
投融資の回収による収入	18,135	55,480
長期性預金の預入による支出	—	△4,000,000
資産除去債務の履行による支出	△11,810	△4,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653,747	△6,261,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,500,000	1,000,000
自己株式の取得による支出	△97,421	△191,255
リース債務の返済による支出	△88,292	△97,982
配当金の支払額	△346,737	△402,379
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,032,451	308,384
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,479,153	238,519
現金及び現金同等物の期首残高	1,136,514	2,615,667
現金及び現金同等物の期末残高	2,615,667	2,854,185

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、菓子、食品、食材の製造・販売及び不動産の賃貸(管理運営)を行っております。

従って、これらの事業内容の特性を鑑み、「菓子事業」「食品事業」「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続きに概ね準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	26,833,570	9,497,097	—	36,330,667
顧客との契約から生じる収益	26,833,570	9,497,097	—	36,330,667
その他の収益	—	—	916,960	916,960
外部顧客への売上高	26,833,570	9,497,097	916,960	37,247,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	26,833,570	9,497,097	916,960	37,247,627
セグメント利益	2,545,351	453,453	452,581	3,451,385
セグメント資産	20,741,201	4,231,283	7,643,848	32,616,332
その他の項目				
減価償却費	1,263,779	21,722	76,195	1,361,696
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	494,007	188,609	37,966	720,582

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	菓子事業	食品事業	不動産 賃貸事業	
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	26,219,920	10,218,687	—	36,438,607
顧客との契約から生じる収益	26,219,920	10,218,687	—	36,438,607
その他の収益	—	—	912,537	912,537
外部顧客への売上高	26,219,920	10,218,687	912,537	37,351,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	26,219,920	10,218,687	912,537	37,351,144
セグメント利益	2,673,355	644,389	427,830	3,745,574
セグメント資産	20,279,913	5,273,604	7,566,202	33,119,719
その他の項目				
減価償却費	1,554,685	29,011	76,699	1,660,395
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	976,957	1,072,570	24,600	2,074,127

(注) その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入であります。

## 4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	3,451,385	3,745,574
全社費用(注)	△2,380,968	△2,421,791
財務諸表の営業利益	1,070,417	1,323,784

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	32,616,332	33,119,719
全社資産(注)	10,892,621	16,974,339
財務諸表の資産合計	43,508,953	50,094,059

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額(注)		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	1,361,696	1,660,395	125,234	149,427	1,486,930	1,809,822
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	720,582	2,074,127	19,582	371,801	740,164	2,445,928

(注) 調整額は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係るものであります。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	菓子事業	食品事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	1,201	173,547	—	174,748	—	174,748

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	菓子事業	食品事業	不動産賃貸事業	計		
減損損失	2,751	3,705	—	6,456	—	6,456

(持分法損益等の注記)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	405,035	0
持分法を適用した場合の投資の金額	311,111	—
持分法を適用した場合の投資利益の金額	△93,515	△311,111

(1株当たり情報の注記)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	4,680.85円	5,031.38円
1株当たり当期純利益	152.52円	159.11円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載をしておりません。  
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	884,947	917,517
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	884,947	917,517
普通株式の期中平均株式数(株)	5,802,007	5,766,443

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	27,037,947	28,752,352
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	27,037,947	28,752,352
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	5,776,296	5,714,605

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。